

Q&A

高齢者に突然の腹痛・嘔吐を認めた回腸狭窄

【問題】

症例：70歳代，女性。

主訴：腹痛，嘔吐。

既往歴：高血圧，糖尿病があり，現在も加療中。

現病歴：突然の腹痛の後，嘔気，嘔吐が出現した。10日後，腹部膨満感，嘔吐，腹痛が増強したため，前医入院。腸閉塞の所見を認めたが，絶食，輸液で改善した。小腸X線検査で回腸に病変を指摘され，精査目的に当科紹介入院となった。非ステロイド性抗炎症薬（non-steroidal anti-inflammatory drugs；NSAIDs）は服用していない。

入院時現症：身長150cm，体重50kg，体温36.5℃，脈拍60/分 整，血圧156/74mmHg。腹部

は平坦，軟，右下腹部に軽度の圧痛を認める以外，特記なし。

入院時検査所見：白血球5840/ μ l，ヘモグロビン10.9g/dl，血小板24.1万/ μ l，CRP 0.27mg/dl，血糖114mg/dl，HbA1c 6.5%。

経口的ダブルバルーン小腸内視鏡検査：回腸に病変を認めた。内視鏡画像（Figure 1）とその際に行ったガストログラフィン®による小腸X線検査画像（Figure 2）を示す。

1. 診断は？

2. 治療方針は？

解答は日本消化器病学会雑誌110巻2号をご覧ください。

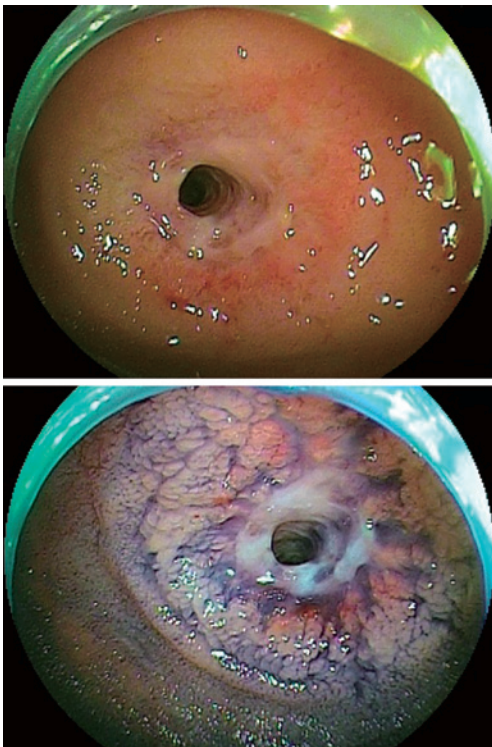


Figure 1. 経口的ダブルバルーン小腸内視鏡検査。

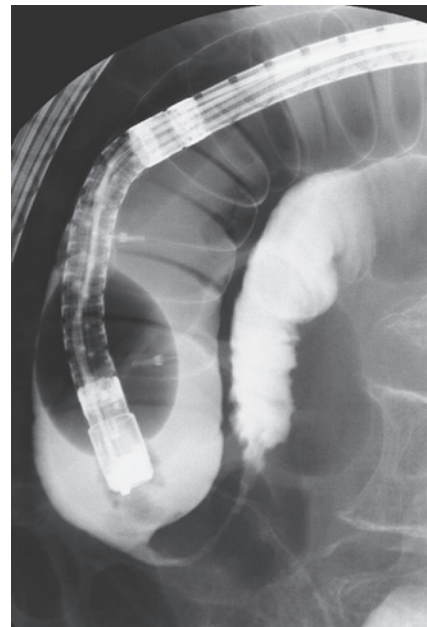


Figure 2. 小腸X線検査。